



2024年11月7日

各位

会社名 ローランド株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼 CIO 蓑輪 雅弘
(コード番号: 7944 東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 袴田 裕一
(Tel. 053-523-0230)

通期業績予想の修正および期末配当予想の据え置きについて

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に公表した2024年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2024年2月14日発表)	百万円 99,900	百万円 11,400	百万円 11,300	百万円 8,500	円 銭 308.37
今回修正予想(B)	99,900	10,000	8,700	6,700	243.11
増減額(B-A)	0	△1,400	△2,600	△1,800	—
増減率(%)	0	△12.3	△23.0	△21.2	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	102,445	11,871	11,154	8,151	297.97

2. 修正の理由

当期は、過剰となっていたディーラー在庫の調整影響により、需要に対して当社からの出荷は相対的に抑えられた状況となっておりますが、当第3四半期以降、概ねディーラー在庫の課題は解決しました。

一方最終需要においては、コロナ需要からの反動減や物価高等の影響により、期初想定を下回る状況が継続しております。このような状況から、市場では一時的な価格競争も見られますが、当社は、販売数量の減少は想定されるものの、需要回復期に備え、ブランド価値の維持向上のため、可能な限り価格の適正化に努めております。また中長期の成長に必要な投資は維持しつつ、販促経費などの支出を最大限抑制するなど、利益の創出に取り組んでまいりました。

しかしながら、販売数量や販売単価が期初計画よりも大幅に下回る影響を、その他の対応策等ですべてカバーすることは困難であると見込まれることから、売上高は為替の追い風により期初予想通りを見込むものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、通期業績予想を下方修正いたします。

電子楽器の最終需要は、前述の通り調整局面が継続していますが、まもなくその調整も終息し、2025年以降は緩やかな再成長フェーズに移行すると当社では考えています。市場の再成長に加え、当社では今期投入した新製品群の通年寄与および、需要創造型新製品の継続的な投入等により、市場成長以上の成長を目指してまいります。

3. 期末配当予想について

当社では、「持続的かつ安定的な配当を行うとともに、株式市場動向や資本効率等を考慮した機動的な自己株式の取得も適宜行うことで、連結総還元性向は原則 50%を目指し、成長投資資金の留保が必要な場合も、連結総還元性向は 30%以上を目指す」ことを株主還元の基本方針としております。当期においては、当期純利益が期初予想を下回る見込みではありますが、財務上の懸念がないこと、また足元の事業環境は厳しいものの、将来成長は可能と考えていることから、一株当たりの期末配当予想（85 円）について修正はございません。

(注) この資料に記載しております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上